

# 主要な 機能強化： CREO 11

## 短時間でベストな設計を実現

史上最高の Creo。日常的作業の生産性向上に有用な、広範囲にわたる改善が加えられました。たとえば、CAD モデルの管理、操作、把握のための強化されたツールに加えて、電動化、複合素材、モデルベース定義 (MBD)、シミュレーションによる設計、さらに付加製造と除去製造のための幅広い機能強化が図られています。



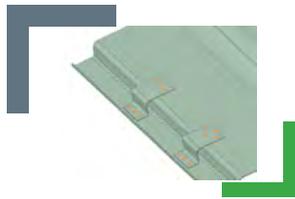
[デモをリクエスト >>](#)

## ▶▶▶ 生産性とユーザビリティ

PTC と Creo は毎年、お客様の業務の簡素化と迅速化を実現しています。Creo 11 も例外ではなく、マルチボディ設計、サーフェス管理、モデルツリー管理などの領域でアップデートが行われました。

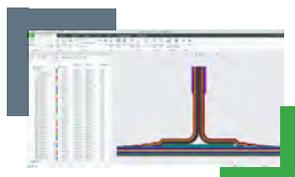


- Creo 11 ではマルチボディ設計ワークフローが改善され、板金部品のマルチボディ設計などがサポートされました。
- スポット溶接機能が改善され、複数の投影ポイント参照をさらに速く、柔軟に定義できるようになりました。
- ボックス選択、ラッソー選択、トレース選択に加え、キルトの選択優先順位がサポートされたことで、多くのサーフェスをさらに速く、快適に選択できるようになりました。
- 参照アセンブリのボディを収集して部品にするシュリンクラップオプションによって、簡略化されたモデルを簡単に作成できるようになりました。
- 境界ボリュームの情報を選択してパッケージングを最適化できるようになりました。



## ▶▶▶ 複合材を取り入れた設計

可能性をさらに広げましょう。複合材を活用すれば、かぎりなく強靱かつ軽量の製品が実現します。



- 遷移、積層断面、ドレーピングシミュレーションのための拡張機能を活用することで、プライの管理と視覚化が容易になります。
- ゾーンベースの設計により、ゾーン領域とゾーンスタックレシピを使用するトップダウン複合設計のコンセプトを適用することで、プライを自動的に作成できます。
- 複合設計と製造準備の柔軟性が高まるだけでなく、プライ図面の明晰度も改善されます。
- トップクラスのレーザー投影フォーマットがサポートされるため、複合素材の製品品質が高まります。

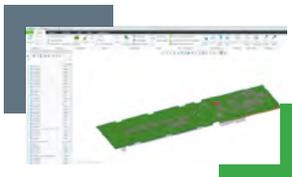


## 電動化設計

多くの業界で電動化への取り組みが重要になっています。Creo ではケーブル、ハーネス、PCB を設計するための設計ツールに改善が加えられ、配線、ハーネス、回路基板の作成と管理が容易になりました。



- ・ ケーブリングについては、「位置を除去」機能を使用することで、グラフィック領域でのダイナミックプレビュー、拡張フィルタ、元に戻す/やり直しのオプションを利用できます。
- ・ ハーネス設定をルーティング中に変更できるようになりました。またケーブリングツリーが更新され、ハーネス構造が大幅に見やすくなりました。



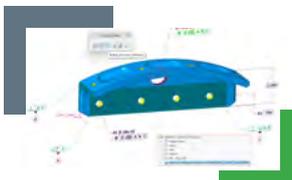
- ・ コンテキストデータの可視性が改善され、ECAD のさまざまなレイヤーの表示を柔軟に制御できるようになりました。

## モデルベース定義とデジタルスレッド

Creo 11 は、高性能なモデルベース定義 (MBD) ツールにより明確な設計を少ない労力で実現します。



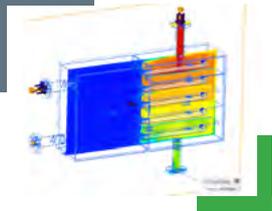
- ・ データを短時間で簡単に単純なテーブルへと整理できます。「スクリーンにフラット」またはアノテーション平面を利用でき、パラメータコールアウトがサポートされます。
- ・ 継承モデルに対するセマンティッククエリーによって、検索の精度と効率性が強化されました。



- ・ GD&T Advisor が強化され、ISO モデルの一般公差と結合単純穴コールアウトの表現で ISO 22081 がサポートされました。
- ・ STEP AP242 エディション 3 のエクスポートがサポートされました。これはデータ交換に関する ISO 標準であり、3D モデルおよび関連するセマンティック製品製造情報のシームレスな共有を可能にします。(今後予定されているメンテナンスリリースで使用可能になります。)

## シミュレーションと最適化

強化されたシミュレーション中心の設計ツールを利用して製品に改良を加えることができ、従来は想定もしていなかった選択肢が広がります。



- Creo Simulation Live で、ソリッドジオメトリと流体ボディ間の共役熱伝達がサポートされました。

- Creo Ansys Simulation Advanced で、非定常構造シミュレーション（時間依存境界条件）がサポートされました。

- Creo 11 では、ジェネレーティブデザインがさらに進化しています。受賞歴のある Creo のジェネレーティブデザインが改良され、最小フィーチャーサイズの拘束、ベアリング荷重のサポート、平面对称の拘束が追加されました。



## 製造

Creo 11 では、付加製造と除去製造の両方が改善され、これにより高品質の製造可能な製品を提供しやすくなります。

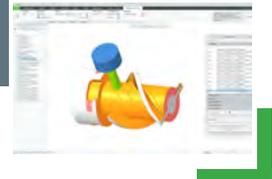
### 付加製造



- 複数の独立した格子を接続する格子コマンドが新たに追加され、複雑な格子を簡単に作成できるようになりました。

- 確率格子に対応する拡張機能と、ワープを使用して単純格子を調整する機能によって、さらに柔軟性が高まっています。

### 除去製造



- 高速ミリングで、4軸ロータリーの荒削りと仕上げのツールパスがサポートされるようになりました。

- 4軸に、新しい領域ターニング機能が追加されました。

多くの機能改善が実施された Creo 11 で、チームの生産性と製品品質を高め、革新を進めましょう。毎日使用する生産性ツールから、シミュレーション手動の設計ツール、革新的な複合設計ツールなどを通じて、Creo が最高の設計をスピーディに実現します。

[ABI Research の最新の競合製品評価で明確なイノベーションリーダーとして認められた](#)

Creo は、充実した CAE/CAM 機能と直感的に使用できるモデルベースの機能を備え、シミュレーションなどの革新的テクノロジーが統合された製品として認定されました。



**Creo は CAD ソリューション**であり、製品イノベーションを促進し、より質の高い製品をスピーディに作り上げることができます。Creo は習得が簡単であり、モデルベースアプローチにより、製品設計の初期段階から製造とその後工程までシームレスに対応できます。Creo では、強力な実証済みの機能が、ジェネレーティブデザイン、リアルタイムシミュレーション、高度な製造、IIoT、拡張現実などの新しいテクノロジーと組み合わせられているため、反復処理の迅速な実施、コスト削減、製品品質の改善などが可能になります。また、Creo は SaaS としても利用でき、革新的なクラウドベースのツールが提供されるため、リアルタイムコラボレーションや合理化されたライセンス管理および配布が可能になります。変化が速い製品開発の分野で、競争優位と市場シェアを獲得するために必要な変革ツールを提供できるのは Creo だけです。

最新のプラットフォームサポートとシステム要件については、[PTC サポートページ](#)をご覧ください。

© 2024, PTC Inc. (PTC). All rights reserved. 本資料に記載された情報は情報提供のみを目的としており、事前の通知なしに変更される可能性があります。また、PTC が保証、約束、提案を行うものではありません。PTC、PTC ロゴ、およびすべての PTC の製品名およびロゴは、米国およびその他の国における PTC またはその子会社、あるいはその両方の商標または登録商標です。その他の製品名または企業名はすべて、各所有者の商標または登録商標です。新製品や新機能のリリース時期は予告なく変更されることがあります。419183 Creo 11: Top Enhancements\_0324-ja